

までいの里のこども園 卒園式

3月18日、までいの里のこども園で、卒園式が執り行われました。

卒園児は、名前を呼ばれると、「はい！」と大きな声で返事をして、「一人ひとりが堂々と前へ進み、修了証書を受け取りました。

伊藤寛園長は式辞で、日々の活動やさまざまなイベントを振り返り、「友達を大切に、元気に遊んで、たくさん『できる』を増や

ていつてほしい」と卒園児に励ましのメッセージを送りました。

卒園児が家族に感謝を伝える「ありがとうのことば」では、「おいしいご飯をつくってくれてありがとう」「お仕事頑張ってくれてありがとう」と、「一人ひとりが大きな声で発表し、会場全体を、温かい気持ちと感動の涙でいっぱいになりました。



伊藤園長から修了証書を受け取る卒園児。返事も態度も大変立派で、成長した姿に大きな拍手が贈られました。



感動的な式の余韻が残る会場で、先生、友達、家族と一緒に記念撮影。思い出いっぱいの園舎を巣立ちます。

いたて希望の里学園 卒業証書授与式

3月13日、いたて希望の里学園の卒業証書授与式が、同校体育館で執り行われました。

卒業生代表による答辞では、「どうすれば今よりも多くの人に村の魅力を伝えられるかを考え続けた日々だった。多くの学びを得ながら、人として大きく成長できた」と自身の3年間を振り返り、家族をはじめ多くの人の支えがあっ

たおかげで「充実した学校生活を送ることができた」と感謝しました。また、クラスメイトには、「別れは寂しいけれど、離れていてもずっと友達。それぞれの道で自信をもって進んでいきましょう」と想いを伝えました。

11人の卒業生は、凛とした立派な態度で式を終え、在校生に温かく見送られ、学び舎を後にしました。



卒業生代表の答辞。大切な仲間と過ごした3年間を振り返り、それを支えた全ての人に感謝を伝えました。



在校生代表の先導で学び舎を後にする卒業生。先生方や在校生が、感謝や惜別の言葉を贈って見送りました。



0～2歳児の「うれしいひなまつり」のダンス。ステージ上には子ども達が製作したひな飾りも並んでいます。

までいの里のこども園 ただじゅんさんのおはやし劇場

3月26日、子どものための表現活動家として全国で活動しているただじゅんさんこと多田純也さんによる『おはやし劇場』が開かれました。太鼓に合わせた軽妙な語り口で昔話が語られた他、皿回しや三味線など多彩なパフォーマンスが披露され、子ども達がわくわく笑顔で楽しみました。子ども達が参加する手遊びやくすぐり合いなど、体を動かす遊びも随所で行われ、会場は終始笑顔に包まれました。



「福」と書かれた皿を回すパフォーマンス。みんなに福がたくさん回って訪れますようにと願いを込めて。

学童保育「つくしんぼハウス」春休みの活動から

ハチ公像の補修に協力!

3月25日、学童保育に通う子ども達が、いたて村の道の駅までい館に置かれているハチ公像のペンキ塗りを行いました。新しい色は子ども達が投票で決めた緑色。最後まで丁寧に作業を進め、「貴重な体験だった」「きれいに塗ることができた」と楽しげに話していました。



木工教室で巣箱づくり

3月27日、村民の森あいの沢の元管理人・高野靖博さん(南相馬市)を講師に木工教室を開催しました。子ども達は2人1組で木材を組み合わせ、協力して巣箱を作りました。完成すると「楽しかった」「また作りたい」といった意欲的な声が聞かれ、巣箱の設置が楽しみの方でした。

